



# 平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成29年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	369,838	6.4	21,718	△2.5	25,323	△8.2	19,893	△13.6
28年3月期第3四半期	347,536	7.3	22,267	10.4	27,596	0.2	23,021	21.0

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,649百万円 (△82.9%) 28年3月期第3四半期 27,129百万円 (1.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	185.53	184.62
28年3月期第3四半期	209.31	208.21

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	541,361	347,187	61.9
28年3月期	553,068	371,688	65.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 334,851百万円 28年3月期 360,042百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
29年3月期	—	40.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	6.8	27,800	5.3	31,500	2.5	22,500	△16.3	207.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.4(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規制」第10条の5に該当するものであります。詳細は、【添付資料】P. 4(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	117,463,685 株	28年3月期	117,463,685 株
29年3月期3Q	13,373,085 株	28年3月期	9,438,151 株
29年3月期3Q	107,221,848 株	28年3月期3Q	109,991,726 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想などの将来予測情報に関する説明)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(4) 追加情報 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方、良好な雇用・所得環境にもかかわらず、将来不安の強まりから個人消費は低迷が長期化しております。また、海外の政治動向が経済に与える影響への懸念から先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは平成29年3月期からの5ヵ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比6.4%増の3,698億38百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比2.5%減の217億18百万円、経常利益は前年同期比8.2%減の253億23百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比13.6%減の198億93百万円となりました。

&lt;連結業績&gt;

(単位：百万円)

区分	平成28年3月期	平成29年3月期	対前年同期比	
	自平成27年4月1日 至平成27年12月31日	自平成28年4月1日 至平成28年12月31日	金額	%
売上高	347,536	369,838	+22,302	+ 6.4
営業利益	22,267	21,718	△ 549	△ 2.5
経常利益	27,596	25,323	△2,272	△ 8.2
親会社株主に帰属 する四半期純利益	23,021	19,893	△3,128	△13.6

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

## ① 日清食品

日清食品(株)の販売状況は、カップめん類が売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。

発売45周年を迎えた「カップヌードル」群の売上が引き続き好調であったことに加え、初のプレミアムタイプで、これまでにない贅沢なスープが特徴の「カップヌードルリッチ」や、「謎肉」と呼ばれる味付豚ミンチが通常の10倍入った「カップヌードルビッグ“謎肉祭”肉盛りペッパーしょうゆ」が売上増に貢献しました。また、発売40周年を迎えたロングセラー商品の「日清のどん兵衛」群は、特に主力の「日清のどん兵衛きつねうどん」が好調で増収となりました。同じく今年発売40周年を迎えた「日清焼そばU.F.O.」群も新製品が話題となって販売増加に寄与し、売上が好調に推移しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比2.6%増の1,719億90百万円となり、セグメント利益は、前年同期比6.1%増の211億58百万円となりました。

## ② 明星食品

明星食品(株)の販売状況は、袋めん類では、「明星 チャルメラ」シリーズが引き続き売上を伸ばしたものの、カップめん類では、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズの売上が前年同期を下回りました。利益につきましては、ブランド強化を目的とした拡販費・広告宣伝費等の販売費の増加による影響で前年同期を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比2.6%減の306億18百万円となり、セグメント利益は、前年同期比32.2%減の10億97百万円となりました。

## ③ 低温事業

日清食品チルド(株)の販売状況は、新製品「まぜ麺」の売上が順調で、主力ブランド「行列のできる店のラーメン」、「日清の太麺焼そば」も引き続き堅調に推移しました。また、夏の定番商品である冷し中華群の好調もあり、前年同期比で増収となりました。

日清食品冷凍(株)の販売状況は、パスタ類、ラーメン類、和風めん類を中心に売上が伸長しました。パスタ類では、「牛挽肉とまいたけのクリーミーボロネーゼ」をはじめとする、もちっとした食感が特長の「日清もちっと生パスタ」シリーズが引き続き好調でした。ラーメン類では、「辣椒担々麺」をはじめとする「冷凍 日清具多」シリーズや「冷凍 日清中華 汁なし担々麺大盛り」等汁なし麺が売上を伸ばしました。更に、和風めん類では、こだわりのスープ、具材の「鴨南蛮そば」も好調に推移し売上増に貢献しました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比3.1%増の465億57百万円となり、セグメント利益は、前年同期比159.0%増の17億57百万円となりました。

## ④ 米州地域

米州地域においては、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指しており、「CUP NOODLES」のリニューアル実施等、市場のニーズに合った高付加価値商品を投入しております。ブラジルでは「7 SAMURAI」のメディアプロモーションを行う等、CUP NOODLESブランドの活性化に取り組んでおります。米州セグメント全体では、前第3四半期連結会計期間より連結子会社化したニッシンフーズブラジルLtda.（旧社名 ニッシン・アジノモト アリメントスLtda.）の寄与もあり、増収増益となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比30.9%増の432億26百万円となり、セグメント利益は、前年同期比318.1%増の10億57百万円となりました。

## ⑤ 中国地域

中国地域は、中国大陸市場での販売エリア拡大（華北・東北・西南地区）と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおります。また、平成27年9月末から華南地区を中心に価格改定を実施し、その浸透に努めております。売上については、「合味道BIG」および「香港製造出前一丁」が引き続き順調に推移しておりますが、為替の影響もあったことから前年同期を下回りました。利益については、為替の影響や香港国際空港内にオープンした「マイカップヌードルファクトリー」「出前一丁ファクトリー」等といった将来に向けた取組みから前年同期比で減益となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比13.6%減の260億72百万円となり、セグメント利益は、前年同期比18.4%減の21億51百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は、前年同期比28.0%増の513億72百万円となり、セグメント損益は、前年同期比33億90百万円増加の29億1百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ117億7百万円減少し、5,413億61百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次の通りであります。

資産の減少につきましては、主に有形固定資産が128億40百万円、受取手形及び売掛金が103億56百万円増加した一方、投資有価証券が261億60百万円減少したこと及び現金及び預金が171億37百万円減少したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ127億93百万円増加し、1,941億73百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が72億42百万円増加したこと及び短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ245億円減少し、3,471億87百万円となりました。これは主に自己株式が223億53百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の65.1%から61.9%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月10日に公表しました業績予想から変更ありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、PT. NISSIN FOODS INDONESIAは重要性が増したため連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法につきましては、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

当社は、中期経営計画の策定を契機に、また、その戦略テーマの「工場高度化投資」の実行にあたり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産の稼働状況を検討したところ、設備は安定的に稼働しており、技術的に陳腐化のリスクも少ないため、今後は減価償却費を耐用年数期間にわたり均等に費用配分することがより適切であると判断し、定額法に変更したものであります。

この結果、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の減価償却費が2,613百万円減少し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,414百万円増加しております。

### （4）追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	87,110	69,972
受取手形及び売掛金	61,391	71,747
有価証券	3,804	4,122
商品及び製品	12,444	13,241
原材料及び貯蔵品	14,724	16,605
その他	11,796	14,097
貸倒引当金	△347	△389
流動資産合計	190,923	189,398
固定資産		
有形固定資産		
土地	52,694	52,513
その他（純額）	116,191	129,213
有形固定資産合計	168,886	181,727
無形固定資産		
のれん	28,549	31,036
その他	13,740	14,165
無形固定資産合計	42,290	45,201
投資その他の資産		
投資有価証券	145,246	119,086
退職給付に係る資産	202	288
その他	5,894	5,681
貸倒引当金	△374	△21
投資その他の資産合計	150,968	125,033
固定資産合計	362,145	351,962
資産合計	553,068	541,361

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,324	58,566
短期借入金	18,457	24,886
未払金	31,301	34,139
未払法人税等	7,262	6,962
その他	22,539	21,358
流動負債合計	130,885	145,913
固定負債		
長期借入金	13,041	15,646
退職給付に係る負債	7,987	7,649
その他	29,465	24,963
固定負債合計	50,494	48,260
負債合計	181,380	194,173
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,177	49,824
利益剰余金	293,803	304,546
自己株式	△35,836	△58,189
株主資本合計	331,267	321,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	43,172	24,415
繰延ヘッジ損益	△261	△0
土地再評価差額金	△6,379	△6,436
為替換算調整勘定	△4,576	△3,570
退職給付に係る調整累計額	△3,178	△861
その他の包括利益累計額合計	28,774	13,547
新株予約権	1,859	1,623
非支配株主持分	9,786	10,713
純資産合計	371,688	347,187
負債純資産合計	553,068	541,361

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	347,536	369,838
売上原価	192,252	201,438
売上総利益	155,283	168,399
販売費及び一般管理費	133,015	146,681
営業利益	22,267	21,718
営業外収益		
受取利息	619	633
受取配当金	1,350	1,353
有価証券売却益	802	1,332
持分法による投資利益	2,246	1,178
その他	775	609
営業外収益合計	5,794	5,107
営業外費用		
支払利息	237	282
為替差損	44	787
その他	184	432
営業外費用合計	466	1,501
経常利益	27,596	25,323
特別利益		
固定資産売却益	268	109
投資有価証券売却益	912	6,828
段階取得に係る差益	6,640	—
受取保険金	—	264
その他	—	71
特別利益合計	7,821	7,274
特別損失		
固定資産廃棄損	230	178
減損損失	—	589
出資金売却損	1,334	—
関係会社出資金評価損	628	—
貸倒損失	508	—
関係会社株式評価損	—	408
火災による損失	—	493
契約変更による精算金	—	585
工場閉鎖損失	—	512
その他	344	205
特別損失合計	3,045	2,973
税金等調整前四半期純利益	32,372	29,625
法人税等	9,252	9,567
四半期純利益	23,119	20,057
非支配株主に帰属する四半期純利益	98	164
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,021	19,893

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	23,119	20,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,093	△18,982
繰延ヘッジ損益	△65	261
土地再評価差額金	—	△56
為替換算調整勘定	△3,234	3,280
退職給付に係る調整額	△885	2,371
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,899	△2,283
その他の包括利益合計	4,009	△15,408
四半期包括利益	27,129	4,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,301	4,665
非支配株主に係る四半期包括利益	△172	△16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成28年11月14日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議いたしました。これを受け、平成28年11月15日に普通株式4,088,300株、22,935百万円の取得を行いました。この取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が22,353百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が58,189百万円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自平成27年4月1日至平成27年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	167,581	31,439	45,176	33,019	30,175	307,393	40,142	347,536	—	347,536
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,741	4,727	1,194	2	91	7,756	19,807	27,564	△27,564	—
計	169,323	36,167	46,371	33,021	30,266	315,150	59,950	375,100	△27,564	347,536
セグメント利益 又は損失(△)	19,947	1,618	678	252	2,635	25,132	△489	24,642	△2,374	22,267

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,374百万円には、退職給付関係費用1,402百万円、のれんの償却額△776百万円、セグメント間取引消去等77百万円、グループ関連費用△3,077百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、ニッシンテクノロジーアリメントスブラジルLtda. およびニッシンフーズブラジルLtda. を連結の範囲に含めたこと等により、「米州地域」セグメントの資産の金額が前連結会計年度末に比べて12,807百万円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結会計期間において、ニッシンテクノロジーアリメントスブラジルLtda. およびニッシンフーズブラジルLtda. を連結の範囲に含めたことにより、「米州地域」セグメントののれんの金額が前連結会計年度末に比べて35,171百万円増加しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成28年4月1日 至平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	171,990	30,618	46,557	43,226	26,072	318,465	51,372	369,838	—	369,838
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	690	4,575	1,325	2	203	6,798	21,006	27,804	△27,804	—
計	172,681	35,194	47,883	43,228	26,275	325,263	72,378	397,642	△27,804	369,838
セグメント利益 又は損失（△）	21,158	1,097	1,757	1,057	2,151	27,221	2,901	30,122	△8,403	21,718

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△8,403百万円には、退職給付関係費用△3,274百万円、のれんの償却額△1,407百万円、セグメント間取引消去等△225百万円、グループ関連費用△3,496百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に記載のとおり、当社及び国内連結子会社の有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法につきましては、従来、主として定率法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、定額法に変更しております。

この結果、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益が、「日清食品」セグメントで1,188百万円、「明星食品」セグメントで488百万円、「低温事業」セグメントで166百万円、「その他」で571百万円増加しております。